



伊丹市議会議員 **おおつる 求** の活動報告

**みんなちがって、  
みんないい**



評価・効率・成果主義の市政でいいのか

**13年ぶり 当初予算案に対する“修正案”提出**

問題点を可視化 賛成少数も、一石を投じる

3月議会に提出された2026年度予算案は、「稼ぐ市役所」を標榜し、成果報酬型退職金導入を目指す中田市長が初めてつくった予算案。ただ自治体は民間企業ではない、稼ぐ・成果報酬等の発想は「馴染まない」。この一年間、私は議会ごとに質問で市長と議論を重ねてきた

— **福祉に競争は馴染まない** —

予算案には新規で「介護度改善インセンティブ事業」(621万5千円)が計上されていた。市長の公約事業だ。

予算委員会等で質疑を重ねたが、答弁は噛み合わず、理解するには程遠いものだったため、この事業を削除した“修正案”を予算委員会、本会議に提出。

伊丹市議会で、当初予算への修正案は2013年以来。

残念ながら、予算委員会(24日)、本会議(27日)ともに賛成少数で否決され、原案が可決・成立した。

**介護度改善インセンティブ事業**

通所介護事業所へ通う、同意を得た要介護度の被保険者を対象に、年度内に2回、日常生活動作評価指標(10項目)を各事業所が測定して、改善度を点数化する。

市は改善割合が高かった事業所を表彰し報奨金(最高50万円)を支給。改善度の高い方を個人表彰する。

議案第12号 修正案											
議員総数	賛成						反対				
25人	6人						19人				
	加 柴 扶 美	高 塚 佳 子					森 原 安 子	鈴木 隆 広	原 道 輝		
	土 井 秀 勝	花 田 康 次 郎	新 内 善 雄	鈴木 久 幸 子		岸 田 真 佐 人	大 津 留 求	大 江 ひ ろ こ	齊 藤 真 治	前 田 伸 一 郎	
泊 園 彦	加 藤 光 博	杉 一	戸 田 龍 毅	川 井 田 清 喜	保 田 憲 司	山 岡 有 理	北 原 達 男	藤 原 光 宏	竹 村 和 人	水 松 敏 彦	松 浦 結 美

修正案に賛同を得ることは難しかった

— **みな違い、みな尊い** —

生活環境や、心身の状態、どう生きるかは、「みんな違い、それぞれが尊い」。

人を点数化し、競い、高得点事業所へ報奨金を渡す事業を「公共」が行うことは、人間の尊厳を蔑ろにすること。

市はその予算を、介護現場の環境整備に使用すべきではないか。

7月1日より

**市役所等の窓口対応時間を30分短縮**

9時～17時30分までの窓口・電話受付時間を、9時～17時に変更する。対象は市役所本庁舎・支所・分室、防災センター、保健センター、消費生活センター、こども発達支援センターなど。

17時から残務整理や会議等を実施し、市民サービスの質の向上、及び職員の残業を減らす。近年、他市も同じような対応をとっている。

同時に、市民の利便性確保のため、戸籍関係・税金・福祉・こども・健診など各手続きの更なるオンライン化を進めていく。

**【窓口時間】**

9時～17時

尼崎市、西宮市、芦屋市  
宝塚市、川西市

9時～16時30分

三田市

働き方改革、経費削減等で  
全国的に短縮が進んでいる

**小・中学校給食費は無償化**

**公立保育所などの給食費は値上げ**



中学校給食は既に無償化されている本市。2026年4月から国の「交付金」(6億529万円)を活用し、不足する6,140万円は市が補填することで、小学校給食も無償になった。

1食あたりの給食費は、小学校 337 円、中学校が393円。

一方、公立保育所・認定こども園の給食費は、米価高騰のため、主食費が月額 1,000 円(400円増)となる。なお、副食費は月額 4,500 円で据え置くという。

**アイフォニックホール大規模改修**

メインホール502席、練習室も含め稼働率が高い音楽ホール(アイフォニックホール)を大規模改修する。老朽化対策に加え、メインホールの吊り天井(右写真)の改修や1階フロアのレイアウト変更をおこなう。



今年度の実施設計をおこなう。

吊り天井工事が約20ヵ月かかる為、2027年7月～29年5月まで工事休館する予定。

その影響をうけ、音楽ホール後に予定されている、いたみホール(文化会館)の大規模改修工事が1年後倒しになる。



## 質問 報告

視覚に障がいのある方が、「自立した生活」や「社会参加実現」のために必要不可欠なのが「白杖訓練」。今回は福祉サービス「訪問型歩行・生活訓練事業」に焦点をあて、質問した。

### 「訪問型歩行・生活訓練事業」とは

2012年度に始まった事業。歩行訓練士が視覚障がい者の家庭等を訪問し、通勤や買い物など一人で外出するのに必要な白杖の使い方の訓練を行う。

2015年度からはパソコン、料理等の生活訓練も追加された。

初めての方は、1回3時間以内、年度内最大10回まで利用者負担無し。2回目からは1割負担。



### “希望と自信を得られる”制度

利用された方からは、「希望と自信を得て、前向きに物事を捉えるようになり社会参加できた」といった感想や言葉を多くいただき、と担当課は言う。

ただ視覚障がいの特性ゆえ、訓練にたどり着くまで、時間がかかる。だから「訪問型」が不可欠、と歩行訓練士は言う。自分だけで歩けることで、心も前向きになる。人と出会い、情報も入る。自立、社会参加を実現する制度だ。



### 歩行訓練に同行

横断歩道を渡る際は、車道で止まっていた車が動き出すエンジン音や風などの状況で、信号が「青」になったと判断、勇気ある一步を踏み出す。

その一步を踏みだせず、何度も青信号を見送る場面も。横断歩道を歩くのも命がけだ。

縁石・フェンス・溝蓋等を白杖で確認しつつ、頭に地図を描きながら歩を進める、という。



### 「単価が上がったから回数を減らす」という発想はオカシイでしょ

今年度から市は、歩行訓練士への委託料増額にあたり、利用者負担無しの最大回数を10回から9回に減らした。当事者にとって「あたりまえの生活」を過ごすための事業。いわば人権の問題だ。

回数を減らすことは、当事者に対し「人間らしく生活する希望や夢を1回分切った」というメッセージとなる。当事者にとっては、かけがいのない「1回」だからだ。

市も「訪問型歩行・生活訓練事業」の意義を十分わかっている。「単価が上がったから回数を減らす」という安易な発想はやめて欲しい、と要望した。

フォト・ダイアリー ～日常の一コマ～



[写真説明 左上から時計回り]

- 31回目の1.17 今年も昆陽池公園で。
- 近畿中央病院の近隣住民説明会。突然の休診に戸惑う住民。
- 3月末で演劇事業を終えたアイホール。その歩みをチラシやポスターで振り返る。その存在の大きさに目を見張る。
- 阪神土建労働組合第74回定期大会で挨拶。久しぶりに懐かしい方々に会えた楽しい時間。



全中学校グラウンドに  
照明設備を整備

夏から中学校部活動の運動部は地域クラブへ移行する。平日、クラブの練習は17時からを想定しているが、冬の時期は真っ暗だ。そこで冬までに照明を設置し、球技の練習ができるように整備を進める。

市政に対するご意見や疑問、お聞かせください。  
困ったこと、悩んでいること、一緒に考えましょう。

大津留 もとむ  
伊丹市議会議員 **おおつる 求**

090-8122-7114 <https://ootsuru.com/>



【プロフィール】1971年福岡県大牟田市生まれ。稲野町在住。  
 ■近畿大学法学部法律学科卒 ■国際交流NPOスタッフとして「地球一周の船旅」参加 ■中川智子衆院議員(元宝塚市長)秘書 ■建設従事者の組合・阪神土建労働組合書記局に入局  
 ■2015年市議選に社民党公認で当選。19年再選、23年3選  
 ■会派「フォーラム伊丹」所属 ■稲野自治会役員 ■防災士

日々雑感

- 年始の衆議院解散、高市首相の推活選挙。民意の振れ幅に驚かされた結果。
- NHK「のど自慢」に、なぜかはまった。
- 「世界に平和もたらすのは Donald だけ」って冗談きつい。言う方も言う方だが、言われて喜ぶ方もどうかと思うよ。
- 夜桜が楽しめるのも平和だからと、そんなことを考える時代になったかと。
- 小学校入学式は面白い。素直なリアクション。この心、どこに置いてきたのかな。
- 投票前日、知人から「道ってナニ?」。続けて「ドウって読むんや」、「ナカドウってナニ?」、「中道」を説明するボク。
- 天声人語書き写しを始めて数か月。読んでも書けない漢字の多さに驚く。
- 社会の問題と言うと「他責」と言われ、批評は「悪口」に、指摘は「粗探し」、抗議は「クレーム」、権利は「わがまま」に変換され、議論されにくい傾向を憂う。
- 「どうすればよかったか?」真剣に考えさせられた。衆院選では無く、映画。
- なぜ議員定数を減らせば改革なの? 母見送る。産んでくれて、ありがとう。